

紀州農業協同組合(Aコープ紀州)・エフピコ 「トレー to トレー」・「ボトル to 透明容器」 水平リサイクルの協働を強化

～令和7年3月までにCO2排出抑制 年間14.5tを達成見込み～

紀州農業協同組合(本社:和歌山県御坊市、代表理事組合長:芝 光洋、以下「A コープ紀州」と株式会社エフピコ(本社:広島県福山市、代表取締役会長:佐藤 守正、以下「エフピコ」)は、店頭で回収された使用済み食品トレーを新たな食品トレーに生まれ変わらせる「トレー to トレー」及び使用済みペットボトルを回収して新たな食品容器に生まれ変わらせる「ボトル to 透明容器」の水平リサイクルを推進するための協働を強化いたします。

●本取り組みについて

地域の皆様の使用済み食品トレー、及びペットボトルを A コープ紀州の店舗にお持ちいただき、店舗に設置している回収ボックスにて回収します。店舗で回収した使用済み食品トレー、及びペットボトルはエフピコで資源として活用され、使用済み食品トレーは“エコトレー”に、使用済みペットボトルは“透明容器”のエコ製品に生まれ変わり、それらのエコ製品が再び A コープ紀州の売り場に並ぶ事で『水平リサイクル』と『循環型リサイクル』を実現しています。



●取り組みの数値の現状について

エコ製品を使用することで A コープ紀州では令和5年度(令和5年4月～令和6年3月末)に13.3tのCO2排出抑制ができました。令和6年度(令和6年4月～令和7年3月末)は店頭での使用済み食品トレー及びペットボトルの資源回収を強化し、それを原料としてリサイクルされたエコ製品を積極的に使用する事でCO2排出抑制『年間14.5t』が達成できる見込みです。

エフピコ及び A コープ紀州は『お店が地域のエコリーダー』となる事を目指し、地域の環境負荷軽減、リサイクル資源の有効活用を積極的に行い、持続可能な循環型社会の推進に貢献してまいります。